

一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより 第14号
令和6年7月1日

「起こせ茂木の風 ～挑戦と感動～」

文責 校長 野田 希世美

長崎っ子の心を見つめる教育週間 ～命と向き合う～

本日より1週間、茂木中学校では「長崎っ子の心を見つめる教育週間」として、様々な形で子どもたちに「命」と向き合い、考えたり、感じたり、学んでいく1週間にしていきたいと思っております。この1週間は学校公開としていきますので、いつでも学校に来られて子どもたちの様子をご覧になられてください。今日は初日で校長から話をしました。昨年は「命は時間」という話をしました。今年は「大切な人」の話をしました。

校長講話(概要)

皆さんに質問です。大切なものは何ですか？ちょっと目を閉じてください。
大切なものを思い浮かべてください。いくつかありますか？2つくらい思い浮かべてください。
誰かにもらったプレゼント、小学校のアルバム？ 大会やコンクールの賞状？お年玉？……
では次に、あなたの大切な人を思い浮かべてください。
大切な人……目に浮かんでいますか。すてきですね。今、みんなはとってもいい表情をしていますよ。
大切な人の顔を思い浮かべてください。大切な人は一人ではないかもしれません。2人、3人かもしれません。

その人はいつもあなたの味方でいてくれるでしょう、あなたにいつも笑いかけてくれるでしょう。

あなたのことをいつも心配してくれているでしょう……あなたのことをとっても大事にしてくれているでしょう。

皆さんはその人と さっき、思い浮かべたものと引き換えができますか？

その人がいなくなったら、どうでしょう。この世界から、あなたのそばからその人がいなくなったらあなたはどうか。その人のかわりは いますか？……

目を開けててください。

君たちは お母さんから生まれてきました。君たちが生まれたときには、きっと家族、おじいちゃんやおばあちゃんも、それはそれは喜んで抱っこしたことでしょう、涙を流したかもしれません。君たちの誕生を祝ったことでしょう。君たちは そうやってこのように生まれてきました。君たちは誰のかわりににもなれない大切な人です。 たった一人の大切な人です。

ここで 女優さんの春名風花さんが小学校の時に聞いた詩を最後に紹介します。

あのね。僕が生まれた日、お父さんとお母さんは、
うれしくて、すごく泣いたんだって
命に代えても守りたいねって
小さくて、かわいくて、 本当に幸せだったんだって

想像してください
君があざわらった子が、
初めて立った日、
初めて歩いた日、
初めて笑った日、
うれしくて、泣いたり、 笑ったりした人たちの姿を

想像してください
君が、きもい、うざいと思った人を
世界中の誰よりも 愛している人たちの姿を

想像してください。

茂木中学校の67人、大切な大切なひとりです。君の前に座っている人、後ろに座っている人、隣に座っている人、みんなみんな大切な大切なひとりです。

